

JICA 食と農の協働プラットフォーム (JiPFA)
第 1 回 インドネシア・ミャンマー 合同分科会
(グローバル・フードバリューチェーン推進官民協議会共催)

<第 1 回分科会のご案内 12/26 (木) 14:00~17:00>

1. 分科会設置の背景・目的

成長するアジアにおいて、農業は主要産業として発展してきましたが、ここ数十年での農業生産性の向上、所得増加に伴う市場ニーズの変化等により、その形は変わりつつあります。インドネシア及びミャンマーも、コーヒー、カカオ、ゴマ、冷凍野菜・海産物等の生産地として日本の食卓を豊かにしてきましたが、急速に経済成長が進む中で「安全・安心」という付加価値をはじめとした、より市場価値の高い作物を求められている状況です。

一方で、両国で共通して、生産現場での栽培技術等に係る知識不足、気候変動対策、脆弱な物流インフラ（特にコールドチェーン）、不十分な農業機械化、グループ単位による営農形態の未発展および組織の脆弱性等、課題も多くあります。JICA ではこのような課題に対し長年の協力を行っており、技術協力、有償資金協力、無償資金協力、民間連携等のスキームをインパクトのある事業規模で進めています。特に近年では官民協働による FVC（フードバリューチェーン）構築に積極的に取り組んでいるところ、本邦民間企業との連携は一層重要となっています。

農業分野の取り組みの一環としての FVC 構築は、官民連携で推進することが不可欠と考えており、それぞれの強みを生かした農業の収益性・生産性向上を図る取り組みが重要です。本分科会では、インドネシア及びミャンマーでの事業展開に関心を有する産官学関係者（企業、学術機関、省庁、JICA 等）間で、両国の課題等に関する情報共有、意見交換を行うとともに、関係者間の協働に向けた具体的な取り組みを検討します。現地の課題解決に貢献可能な技術・ノウハウを有する本邦企業等は数多く存在すると考えられるところ、本分科会が具体的な現地技術ニーズ、ビジネスチャンス、有望なビジネスパートナーや投資環境等に関する情報を得る契機になることが期待されます。

なお、本分科会は農林水産省が実施している、グローバル・フードバリューチェーン推進官民協議会との共同開催とします。

2. 第 1 回分科会の概要

第 1 回分科会では、インドネシア及びミャンマーの最前線で活動する JICA 専門家／コンサルタントらも呼び、最新の現地農分野の状況、日本の取組みをお伝えします。ミャンマーにおける黒ゴマ研究の進捗報告については、2017 年度・2018 年度に実施された「ミャンマー農業・農村開発意見交換会」におけるゴマバリューチェーン構築の議論の流れを引き継ぐものです。

食の安全性向上は FVC 構築における両国共通の課題として JICA でも取り組んでいるところ、本会第二部のテーマの一つに取り上げております。また、ハラール認証制度は ASEAN 各国の商品開発においてますます拡大しており、イスラム関連の国に対するビジネスにおいては必須の事項となりつつあります。本会がインドネシアをはじめとしたムスリムの方の視点でビジネスを捉えるきっかけとなれば幸いです。

今後日本の企業様の活動もさらに拡大していく事が予想される両国の農分野において、国内のステークホルダーが一堂に会し議論を行う場となりますところ、皆様ふるってご参加ください。

3. 日時

2019年12月26日(木) 14:00~17:00 (受付 13:30~)

第一部: 14:00~15:35 第二部: 15:45~17:00

4. 場所

JICA 麹町本部 228・229 会議室

アクセス: https://www.jica.go.jp/about/structure/hq_access01.html

JICA 国内拠点 (帯広、札幌、東北、二本松、筑波、横浜、北陸、中部、駒ヶ根、関西、中国、四国、九州、沖縄) との TV 会議あり*。

※TV 会議での参加をご希望の方は、該当の国内拠点名と TV 会議参加希望と記載ください。ご連絡頂きましたらすぐに回線と国内拠点の会議室の確保を図り、その結果をご案内するようにいたします。なお、**国内拠点の都合により、ご要望を頂いても接続できない場合もございます**ので予めご了承ください。

JICA 在外拠点 (タイ、フィリピン、マレーシア、ベトナム、ミャンマー、ラオス、カンボジア、インドネシア等) との TV 会議接続を予定しております。

5. プログラム案

(第一部: 14:00~15:35)

- 主催者挨拶
- インドネシア農業の最新状況/JICA 専門家
- ミャンマー農業の最新状況/JICA 専門家
- インドネシア、ミャンマーにおける日本政府の政策/農林水産省
- インドネシア、ミャンマーにおける JICA の取り組み/JICA 農村開発部
- 事例紹介/ (登壇者調整中)
- ミャンマーにおける黒ゴマ研究の進捗報告/富山大学 山本将之講師
- 質疑応答

➤ 第一部終了～休憩

(第二部：15：45～17：00)

① 気候変動対策（特に農業保険に焦点を当てたテーマになります）

➤ JICA の取り組み農業分野気候変動対策の取り組み/JICA 農村開発部

➤ インドネシア「(技プロ) 農業保険実施能力向上プロジェクト」紹介/JICA 専門家

➤ 質疑応答

② 各種認証制度

➤ GAP 認証について

➤ ハラル認証について

➤ 質疑応答

➤ 第二部終了～閉会

6. 参加対象者

インドネシア、ミャンマーにおける農分野の事業展開に関心のある民間企業・業界団体、大学・研究機関等。

なお、会場の都合上、参加応募者多数（本部会議室のキャパシティは最大 80 名程度）の場合は、1 社あたり参加 1 名限定、先着順とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。また、本分科会への参加をご希望で、JiPFA に登録されていない皆様は、是非 JiPFA への会員登録をお願いいたします。

JiPFA のご登録は[こちら](#)をご覧ください。

7. 参加お申込み方法

2019 年 12 月 19 日 (木) までに、必要事項（①分科会名：インドネシア・ミャンマー、②所属先、③所属部署・役職、④ご出席者氏名、⑤ご連絡先：電話番号及びメールアドレス＝申込時アドレスと異なる場合）をご記載の上、下記担当宛に電子メールにてお申し込みください。

本分科会には、日本国内にある JICA の拠点から TV 会議による参加も可能です。TV 会議での参加をご希望の方は、該当の国内拠点名（「4. 場所」の JICA 国内拠点参照）と TV 会議参加希望と記載ください。

8. お申し込み先

独立行政法人 国際協力機構（JICA） 課題部支援ユニット

メールアドレス：Kadaishien_chosei@jica.go.jp

(注) 頂いた個人情報は、本分科会に関するご連絡にのみ使用させていただきます。

9. グローバル・フードバリューチェーン推進官民協議会への登録のご案内

本分科会へ参加をご希望で「グローバル・フードバリューチェーン（GFVC）推進官民協議会」にメンバー登録されていない皆様は、是非ご登録をお願いします。

GFVC 推進官民協議会は、企業の皆様の海外展開を支援するため、農林水産省が設置している協議会です。日本企業の皆様の有する技術やノウハウを活用した、途上国・新興国での FVC 構築を相手国政府と協力して推進しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/kokusai/kokkyo/food_value_chain/about.html#registration

10. 本件照会先等

インドネシア・ミャンマー 合同分科会事務局

JICA 農村開発部第 1 チーム

村尾 あかり E-mail : Murao.Akari@jica.go.jp

Tel : 03-5226-8416